

00	09	03	002	永年保存	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議長	副議長	事務局長	副主幹	主査	担当	担当	文書取扱主任	

第4回 経済建設常任委員会 会議録

開催年月日	平成19年7月27日（金曜日）	開会：13時00分	閉会：13時32分
開催場所	第三委員会室		
出席委員	山木、清水、中田、山腰、水口	事務局	飯沼事務局長
	委員外～井上		田湯副主幹
欠席委員	田村		山本主査
説明員	別紙のとおり		
議件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について、所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1)そらぷちキッズキャンプについて		
	2. その他		
	なし		
	3. 次回委員会の日程について		
	平成19年8月10日(金)午後1時30分から開催することを確認した。		
	上記記載のとおり相違ない。 経済建設常任委員長 山 木 昇 印		

平成19年7月26日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成19年7月23日付け滝議第57号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

経済部長	中 嶋 康 雄
経済部参事	江 上 充 明
経済部商工労働課長	吉 井 裕 視
経済部商工労働課地域振興室主査	諏 佐 孝
経済部農政課長	多 田 幸 秀
建設部土木課主任主事	寿 崎 行 洋

(総務部総務課総務グループ)

第4回 経済建設常任委員会

H19. 7. 27(金)13:00～
第 三 委 員 会 室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

○ 休憩～4月1日付及び7月1日付人事異動に伴う職員紹介

1. 所管からの報告事項について

《経済部》

(1) そらふちキッズキャンプについて

(資料) 経済部商工労働課

2. その他

3. 次回委員会の日程について

8月10日(金)13:00 第三会議室（案内ハガキ省略）

○ 閉 会

第4回 経済建設常任委員会

H19.7.27(金)13:00～

第 三 委 員 会 室

開 会 13:00

委員動静報告

委 員 長

欠席～田村委員

遅刻～山腰委員。委員外議員～井上議員。空知新聞社の傍聴を許可。
休憩する。

休 憩 13:01

(4月1日付け及び7月1日付け人事異動に伴う主査以上の職員紹介を行った。)

再 開 13:06

委 員 長

会議を再開する。

1 所管からの報告事項について

委 員 長

(1)について報告を願う。

(1)そらぷちキッズキャンプについて

中嶋部長

(別紙資料に基づき説明する。)

諏佐主査

平成19年度当初予算の中で、そらぷちの森づくり事業経費を6,200万円計上している。これについては、滝川市、そらぷちキッズキャンプを創る会、設計業者等が協議して当初の計画を一部変更し森の観察小屋の建設に着手したいというもの。内容について、担当の諏佐主査より説明する。

そらぷちキッズキャンプの施設整備について説明させていただく。これまでの経緯について施設整備に当たっては関係所管、建築住宅課、土木課、農政課、地域振興室、そらぷちキッズキャンプを創る会、日本公園緑地協会、3社により協議を重ねてきた。将来的に社会福祉法人化を目指しているということもあり、大型児童館としての施設要件の関係、あるいは建設工事に関係する開発行為、新日本建築基準法、関連法令について空知支庁、消防などの関係所管と協議を行ってきた。1番大きな懸案となっていたのは、丸加高原健康の郷の多目的広場で、農林水産省の補助金が入っていたこともあり、他の用途に使用する場合補助金変換ということもあって、昨年度末の第6回地域再生計画により弾力的な兼用が認められたところである。多目的広場を含む16ヘクタールの建設予定地全体を使用しての建築工事が可能となっている。平成18年度の業務については、施設建設における基本設計並びに一部自主設計、敷地測量の多くを日本公園緑地協会に委託してる。市の単費、単独事業として建物を一棟建てる計画があり、地質調査、ボーリング調査を行っている。また、将来的にそらぷちキッズキャンプが整備する建物の部分についても創る会のほうで100万円程度の経費では地質調査を行っている。平成19年度以降の工事内容については当初造園工事とか設備工事等々予定していたが、将来的に創る会に工事を引き継ぐ関係もあり、できるだけ高原基金を有効に手戻りのないように使っていけるように関係団体で協議してきており、最終的には、森の観察小屋の新築工事と、それに附随する電気設備工事、給排水設備工事ということで平成19年度の工事を行っていききたい。工期については、8月の末にプレキャンプが予定されているのでキャンプ終了後、9月頃から工事を開始し今年中12月末までに完成させることで予定している。冬場にかかることもあるので、雪の対策ということも出てくるかもしれないが、工事費から捻出するのがなかなか難しいということで、土木課と除雪の部分については対応を検討していきたいと考えている。年次計画の数字については、高原基金からいただいている部分のベースで記載し

ている。平成 18 年については、設計測量として 1,800 万円いただいている。平成 19 年度については、森の観察小屋及び設備工事に 6,100 万円、アドバイスとあるのは難病児のためのキャンプ場ということでバリアフリーだとか、ユニバーサルデザインといった部分で、特段の配慮が必要ということでそういったノウハウを持つ日本公園緑地協会に引き続き調整、アドバイスいただいて工事を進めていきたいという部分での 100 万円である。平成 20 年度以降については、引き続き関係団体で協議していくので、現状の予定では設備工事の残りとは造園工事、植栽の部分を予定している。全体で 1 億 7,000 万円を高原基金からいただいた部分で整備を行っていく。最終的には建物 1 棟、沿道並びに森と高原基金の事業は終わるが、引き続き創る会で調達した資金を基にコテージあるいは宿泊棟、食堂棟について順次整備していく計画である。2 枚目の図面にある平成 19 年度に整備を予定している森の観察小屋の位置を示している。16 ヘクタール全体を示してる図面だが、位置的な関係でいうと右下が伝習館、右側に弧を描いて道路が見えるところが展望台に行く道路で、ちょうど施設分が配置されているのが現状多目的広場サッカー場になっている土地で、こういった計画で進められているところである。最後の A 4 版縦の図面は施設明示図で牧草地側から多目的広場を見下ろしたような鳥瞰図となっている。森の観察小屋と赤い旗の建った塔があるがこれが今回予定している塔となる。資料については以上である。

委員長
中 田

質疑はあるか。

この図面の森の観察小屋は何棟建てるのか。これが観察小屋なのか。6,100 万円とはどの部分か。

諏佐主査

図面で見ると建物は 5 棟ある。陰になって赤い旗の立っている棟が森の観察小屋で滝川市の事業でやるのはこの棟のみ。他の棟については、医療棟、食堂棟及び風呂の棟が予定されているが、これについてはそらぶちキッズキャンプが独自に資金を集めた部分で建設していくことになる。

委員長
清 水

他に質疑はないか。

色の塗った部分が森の観察小屋か。この部分の広さ、概要についてだが、右の黒いところが駐車場なのか。この俯瞰図というのはこの図でいうとひょうたん型の部分の下の方から見てどちらなのか。そのほかの建物が色が塗られていない部分かと思うが、基本計画の概要設計ではそれぞれどのくらいの規模なのか伺いたい。

諏佐主査

図面の見方について、A 3 版の平面図は右が多目的広場で、左が牧草地になっている。左手から右側を見たのがこのパース、イメージ図になる。今回整備する森の観察小屋の広さについてはおおむね 280 平方メートル、機能としては簡易トイレは置いているが、現状多目的広場に難病の子どもたちが十分使えるトイレがないということで、トイレの部分、あるいは保健室レベルの休養室、あとは一部事務的な作業ができるような打合せスペースが予定されている。

寿崎主事

補足説明をする。図面の色のついている左上方にあるのが、医療棟である。今現在の成型であると、医療棟の面積については 200 平方メートルを予定している。色のついている森の観察小屋から連絡し、中央の集会所は床面積は約 900 平方メートルである。

食堂、集会所については、現在の計画では 2 階建ての建物で計画をしている。図面でいうと、集会所から下のほうに宿泊棟がある。細長い建物で 300 平方メートル、その下にある変形の六角形の建物が浴場棟で約 80 平方メートル、図面の右斜め前方にある多面系の建物が小劇場兼体育館ということで 780 平方メー

トルを予定している。以上で補足説明を終わる。

清水 前回の委員会でも説明を受けているが、もう一度そらぷちキッズキャンプの全体の精査する上で予定している資金がいくらくらいでどのくらいまで集まっているのかお聞かせ願いたい。

諏佐主査 施設整備費については、まだ基本設計レベルで実際のところ各棟がいくらくらいでできるかというのは、今後になるが現在予定されているのは、5億円である。年間運営費は1億円で資金を調達していきたいという計画である。現状、資金では、滝川市の基金に積んである部分、創る会独自で積み上げている部分を合わせて4,000万円程度。ただ、前回報告したかもしれないが、募金箱がいよいよ動き出しそう。今年度では半年分くらいは何とか集まってくると思っている。その部分が期待を寄せているところである。

清水議員 21年度まである程度集中して、2年間くらいでごく近いものを集める。1年目の運営費を集めれば当然6億円近い。キャンペーンというのか、滝川市でいえば、短期間でいろいろな資金を集めるということをやってきているが、その雰囲気づくりというのか、市民もそれぞれ寄付しなくてはならないというような、市民ばかりでなく広く道民に向けてそういうのは既に始めているのか、これからどんどん膨らんでいくのかそのあたりのことを伺いたい。

中嶋部長 いわゆるそらぷちキッズキャンペーンに興味を示していただくというようなことから、いろいろな団体の会合の中でそらぷちキッズキャンプのDVDを披露させていただいてPRしている。前段諏佐主査のほうから申しあげたようにチェーンドラック協会が全国に13,000店ほどある。そこに、秋頃までにはすべて募金箱を設置していただける手はずになっている。まだ2,000個ほど募金箱が残っているので、市内あるいは道内に向け会社としての地域貢献として個々にお願いをしており、一部のホームックにも声をかけている。そういった意味で、広げていきたい。缶バッジなども製作している。名刺の台座も市の職員になるべくそらぷちの絵のついたものを使っていただき、まず身内からPRの戦略を広げていこうと取り組みをしている。なんとしても財源が必要になってくるので皆さんの協力を得ながらもっと広く伝えていきたいと思っている。もう一点HTBで、年1回つくるドラマの関係について、今年はそらぷちを題材に製作していただけることになった。放映日等については未定だが、8月1日から市内の病院、丸加高原等いろいろな場所でロケに入るのでおおいにPRに役立つのではないかと期待している。

委員長 他に質疑はあるか。(なし)

(1)について報告済みとする。

2 その他について

委員長 何かあるか。(なし)

3 次回委員会の日程について

委員長 8月10日に開催してよろしいか。(よし)

以上で第4回経済建設常任委員会を閉会する。

閉 会 13:32